

荒川公園周辺再整備基本計画（案）に対する意見及び市の考え方

1 意見募集期間

令和5年1月23日（月）～令和5年2月22日（水）

2 意見の提出者数及び意見等件数

提出者数 76名

意見等件数 148件

3 意見の概要と市の考え方について

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【1】 隣接施設との一体的な再整備	新しい体育館の建設そのものには反対ではありませんが、現状の計画の見直しが必要と思います。桜木小の統廃合があるかもしれないこと、市民文化センターの老朽化も進んでいることを鑑み、長期的にみれば、その2つの施設も合わせての再整備をすることが最善だと思います。	再整備エリアは、現在の市民体育館の敷地や、荒川公園とその周辺を想定しています。 隣接する文化センターは、令和23年の耐久年限まで活用する方針であり、必要な改修を行っています。 また、桜木小学校は、個別施設計画で統廃合の検討対象になっているものの決定事項ではなく、児童数の動向などを注視しつつ再検討も考えられることから、本計画は、これらと切り離して進めているところです。
	・2030を目途に統廃合が検討される桜木小学校 ・雨漏りが見られ耐震・防火装置等場当たり的な接ぎあてをくりかえす文化センター ・対象敷地内の素晴らしいケヤキやイチヨウの大木の保護 ・慰霊塔の老朽化やSLの適切な管理が課題の荒川公園 ・移転予定の図書館跡の利活用 ・国交省の管轄ゆえに場所は広大だが手の及ばない荒川河川敷 ・老朽化で建て替えが必須の市民体育館拙速に2029年オープンありきで進めず、中期的な再開発計画をたて市民に明らかにしゾーンを一体化して考え総合的で市民・近隣住民・利用者にとってよりよい再開発の計画を作り上げてください	新市民体育館の配置については、近隣の住民の方への影響や既存樹木の保全ができるよう工夫し検討していきます。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【1】 続き 隣接施設と の一体的な 再整備	現体育館は筋交い工事も済んで耐用年数は伸びるのではないのでしょうか。 桜木小学校の合併後もふくめて再開発を考えてほしい。	再整備エリアは、現在の市民体育館の敷地や、荒川公園とその周辺を想定しています。 隣接する文化センターは、令和 23 年の耐久年限まで活用する方針であり、必要な改修を行っています。 また、桜木小学校は、個別施設計画で統廃合の検討対象になっているものの決定事項ではなく、児童数の動向などを注視しつつ再検討も考えられることから、本計画は、これらと切り離して進めているところです。 新市民体育館の配置については、近隣の住民の方への影響や既存樹木の保全ができるよう工夫し検討していきます。
	文化会館を旧熊谷会館跡地に移し、現文化センター&体育館敷地内で、図書館他の機能と体育館を統合した施設を構築する案はいかがでしょうか。 さらに荒川堤&河川敷有効利用（駐車場、日陰づくり、遊歩道整備等）も追加で考慮していただきたい。	
	周辺の住宅の事を考えてください。 騒音・車の往来・日当たり・憩いの場 現体育館を取り壊した後に、南側の駐車スペースまで使ってメインアリーナを建ててはどうですか。 少し待てば、桜木小学校もなくなる予定と聞いていますので、小学校の体育館もグラウンドも利用できるでしょう。現体育館のように、この先 60 年利用することを思う時、建替えだと少し時間がかかるでしょうが考えてください。	

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【1】 続き 隣接施設と の一体的な 再整備	図面には表示がないので縦横の長さ と高さを教えてほしい。公園は幅が狭 いので細長いアリーナを作ろうとして いるが使いにくいと思う。老朽化して 雨漏りもしている文化センターと一体 化して計画する方がいいものができる と思う。これから 16 年間何度も補修 するよりトータル的にお金かからない しスポーツだけに特化した建物より文 化的でもあり複合的でもある新しいタ イプのアリーナを縦幅も横幅も広い敷 地に、住民への圧迫感も少なく建てる ことができると思う。今の技術があれば スポーツしに来た人が帰りに本を借り ていくとか演劇見に来た人が帰りに体 を動かして行くという施設が作れると 思う。	再整備エリアは、現在の市民体育 館の敷地や、荒川公園とその周辺を 想定しています。 隣接する文化センターは、令和 23 年の耐久年限まで活用する方針であ り、必要な改修を行っています。 また、桜木小学校は、個別施設計 画で統廃合の検討対象になっている ものの決定事項ではなく、児童数の 動向などを注視しつつ再検討も考え られることから、本計画は、これら と切り離して進めているところで す。 新市民体育館の配置については、 近隣の住民の方への影響や既存樹木 の保全ができるよう工夫し検討して いきます。
	計画の検討を延期すべきである。 桜木小学校が統廃合される予定であ り、計画を数年延期し、桜木小跡地と の一体開発を計画すべきである。廃校 後の桜木小跡地の利用計画が示されて いない。	
	何年先を見据えてこの計画案が出され たのか。 図書館や文化センター、桜木小学校ど れも老朽化ですよね。市長さんが替わ ったから、公園を破壊してまで、今建 替えなくてよいのでは。	
	建替えには賛成ですが、工夫が必要。 公園を犠牲にしての建替えではなく、 文化会館と一体化するとか、一階を駐 車場にするとか専門家の知恵で工夫し てほしい。あまり急がずじっくり検討 してほしいです。	

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【2】 計画地について	駐車場を広げ、アリーナにはスポーツチームを誘致し、周辺の活性化を目指すとする、アリーナは線路と荒川にはさまれ、国道17号線からアンダーパスを通して、アリーナ側に行かねばならず、道路渋滞が心配されます。作るならハザードマップを参考に国道17号北側の方が良いと思います。	現市民体育館の建替えであること、熊谷駅の至近にあり、公共交通でのアクセスの良い立地を生かすべきこと、駅周辺の活性化を進める拠点としての期待が持てることなどにより、現在の計画地を中心に検討を進めてきたものです。 賑わい創出については、熊谷駅至近で荒川緑地等の自然環境や文化センター等の文教施設との相乗効果による魅力付けが可能であり、こうした地域資源を活用して市の発展につなげて行きたいと考えています。
	静かな住民街にスポーツ施設をなぜ造るのか。 昔から桜といちように囲まれた落ち着くことの出来る公園です。老朽化は、否めないがそこにスポーツ施設を造るメリットはあるのか。施設を造れば、それなりの管理費や駐車スペースの確保も必要になる。建設するのであれば、もっと広い場所にもう少し大きめの施設を検討してみてはどうでしょうか。	
	私は熊谷には住んでいませんが、計画場所の近くに祖母の家や友人の家があり今回の計画をききました。規模として作るには少し小さいので、利用が増える見込みが薄いのではないかと考えました。熊谷が本拠地のバスケットやバレーのチームがあるならまだしも、みなさんホームの体育館を使用すると思いますし、コンサートとしても規模が小さすぎてジャニーズの新人でも使えませんし、今話題の声優さんも1万人規模の場所をつかっている、有名人のコンサートは考えにくいです。花火大会ですら混雑や車の無断駐車、ゴミのポイ捨てなどがあるので、毎週毎日となると近隣のかたのストレスは大変大きなものになると思われます。作るのであれば熊谷ドーム付近の広い土地に1万人規模のものを希望します。また子供の広場などが少ないので、駐車場を完備した子供の遊び場などを作る方がよいと思います。	

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【3】 新体育館の方向性（「みるスポーツ」の機能強化）について	1 目指すところが中途半端ではないかと感じました。 「見る」スポーツも、ということのようですが、その割には、プロスポーツの試合を開催するのは1年間にわずか7～8日と。全くもって「わずか」です。 その一方で、現在、2000万円の赤字が1億2000万円の赤字になるとのこと。 市民の健康増進に寄与することを目的として新体育館を建設するのはもちろん賛成ですし、空調も完備した体育館にするのも賛成です。 しかし、市民が使うための体育館なのであれば、そこまで赤字になるような体育館は不要ではないかと思います。 5000人規模、そして魅力的なアリーナにしてプロスポーツの本拠地として誘致する方向性はないのでしょうか？ないのならば、市民の健康増進をメインの目的にして、赤字を縮小できる計画にしたいと思っています。 市内各地の公民館も閉鎖、合併する予定と聞いています。そうなれば、一部の公民館活動が縮小するのは必至です。公民館では健康増進目的で使用しているグループも多くあるはずです。 市政の方向性をマクロで見ると、おやりになろうとしていることがチグハグな印象を持たざるを得ません。 2 文化センターも十数年後には解体とのことでした。 それならば、その計画を少し早め、体育館の計画を遅らせて、一体的な計画立案をぜひお願いしたいと思います。 文化センターの修繕計画がおりなのでしょうけれども、毎年度ごとに予算がつくものと思料します。絶対十数年後までもたさなくてはいけないということはないと思います。 一体的な計画を立てることができれば、荒川公園を一部潰すのはやむなきとしても、大切な木々も一部は守れるのではないかと考えます。以上、どうぞ一考いただければ幸いです。	市民体育館の老朽化に伴う、建替えに当たり、みるスポーツの機能を拡充し、にぎわい創出を図ることとし、検討しております。体育館の規模については、みるスポーツ及びするスポーツの対応可能な規模について、検討を進め、V1リーグのホームアリーナ基準を満たし、全国規模の大会など、また、県北最大規模となる3,500人規模とし設定しました。 費用対効果につきましては、スポーツの振興として利用する観点から公費での支援は必要と考えますが、過度な負担とならないよう今後も検討していきます。 文化センターは、個別施設計画において耐久年限まで利用することとし、耐震化工事やその他施設補修等を計画的に実施しております。 施設の配置については、近隣の住民の方への影響や既存樹木の保全が可能な限りできるよう引き続き検討いたします。 みるスポーツの機能強化により、賑わい創出を図り、熊谷駅至近で荒川緑地等の自然環境や文化センター等の文教施設との相乗効果による魅力付けが可能であり、こうした地域資源を活用して市の発展につなげて行きたいと考えています。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【3】 続き 新体育館の方向性（「みるスポーツ」の機能強化）について	用途地域、条例を変更してまで3000人規模のアリーナを建設する必要性が感じられません。年に数回プロの試合を招致するための大きなアリーナは要りません。この地域は、自然豊かで穏やかな市民の暮らしがある住宅地です。賑わいは要りません。もちろん体育館の建替えは必要なので、現在の位置で現在の規模で建替えて下さい。災害時に活かせる工夫（備蓄倉庫、避難施設）があればなお良いです。仮に立派なアリーナができて、プロの試合をしても、市外から来場する人は、試合を見て帰るだけです。例えば、ラグビーのプロリーグの試合の後、ちょっと休んでいく場所、電車待ちの時間をつぶす場所に困っている人が多いのはご存知ですか。何も商業施設を増やしてほしいのではなく、くつろげる場所、くつろげる街をつくってほしいのです。バスに乗れず、ラグビー場まで歩く人もいます。そういう人のために歩くのが苦にならない街をつくってほしいのです。箱物をつくれれば、形は整うかもしれませんが、大切なのは箱の外側ではないですか。箱を活かす街づくりがされなければ本当にただの箱です。 老朽化した市民体育館の再建築にあたって、スポーツ観戦機能を強化する施設の拡充をやめて下さい。	市民体育館の老朽化に伴う、建替えに当たり、みるスポーツの機能を拡充し、にぎわい創出を図ることとし、検討しております。体育館の規模については、みるスポーツ及びするスポーツの対応可能な規模について、検討を進め、V1リーグのホームアリーナ基準を満たし、全国規模の大会など、また、県北最大規模となる3,500人規模とし設定しました。 費用対効果につきましては、スポーツの振興として利用する観点から公費での支援は必要と考えますが、過度な負担とならないよう今後も検討していきます。 文化センターは、個別施設計画において耐久年限まで利用することとし、耐震化工事やその他施設補修等を計画的に実施しております。 施設の配置については、近隣の住民の方への影響や既存樹木の保全が可能な限りできるよう引き続き検討いたします。 みるスポーツの機能強化により、賑わい創出を図り、熊谷駅至近で荒川緑地等の自然環境や文化センター等の文教施設との相乗効果による魅力付けが可能であり、こうした地域資源を活用して市の発展につなげて行きたいと考えています。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【3】 続き 新体育館の方向性（「みるスポーツ」の機能強化）について	「広々とした、みんなの公園を残して！」 私は、荒川公園目の前、北側に住む市民です。今回の再整備計画を知って、この地域に住み続ける大きな魅力がなくなると感じています。 今回の計画案は、印象として、地域住民が日常的に自由に使える公園ではなく、遠くから来る人たちを集めて、興行する施設を作りたいのだと感じました。 新体育館と駐車場の面積が全体の3分の2を占め、自由に出入り出来る公園広場、ラウンジ等は、わずかな面積に縮小されます。 大きな面積を占める新体育館は、予約が必要であったり、利用料を支払って、目的のスポーツ観戦や、特定の運動をする人たちしか使えなくなります。 私たち地域住民が時間帯を問わず自由に出入りし、子どもたちを走らせたり、球技を楽しんだり、犬の散歩をする空間は、とても狭くなります。 子どもたち、中高生は、この公園がなくなったら、今の住環境で、どこでボール遊びをすればいいのでしょうか？ 計画案の狭い公園広場では、利用者同士の安全な距離が確保出来ないと考えています。都会の公園のように「ボール禁止」にするのでしょうか？ ましてや、その広場でフェスなどが開催されたら、ご年配の方々も含め、日常的な利用者には居場所がなくなります。そんな公園になることを、私たちは望んでいません。 どうか、計画を再考していただきたいと思います。 現体育館は、老朽化から建て替えが必要なのは理解出来ます。誰もが使いやすいユニバーサルな公園も、ぜひ実現していただきたい。 しかし、市民の目から見て、興行が出来る、「大きな」スポーツ観戦施設は要りません。時代に逆行していませんか。貴重な税金の使い途としても、必要な課題は他に多くあるのではないのでしょうか。 みんなの広々とした公園が守られるように、どうか、計画を見直してください。	市民体育館の老朽化に伴う、建替えに当たり、みるスポーツの機能を拡充し、にぎわい創出を図ることとし、検討しております。体育館の規模については、みるスポーツ及びするスポーツの対応可能な規模について、検討を進め、V1リーグのホームアリーナ基準を満たし、全国規模の大会など、また、県北最大規模となる3,500人規模とし設定しました。 費用対効果につきましては、スポーツの振興として利用する観点から公費での支援は必要と考えますが、過度な負担とならないよう今後も検討していきます。 文化センターは、個別施設計画において耐久年限まで利用することとし、耐震化工事やその他施設補修等を計画的に実施しております。 施設の配置については、近隣の住民の方への影響や既存樹木の保全が可能な限りできるよう引き続き検討いたします。 みるスポーツの機能強化により、賑わい創出を図り、熊谷駅至近で荒川緑地等の自然環境や文化センター等の文教施設との相乗効果による魅力付けが可能であり、こうした地域資源を活用して市の発展につなげて行きたいと考えています。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【4】 配置案について	メインアリーナの建設場所を現市民体育館跡地と南側の駐車スペースとし、東側道路と市役所通りから続く櫛並木を存続させるべきである。	本計画では、熊谷駅から荒川緑地への通行機能の確保、桜木小学校への圧迫感、既存体育館の休館期間の短縮等の観点から、配置案①が望ましいと考えました。 しかしながら、市民の皆さまからご意見をいただいたとおり、メインアリーナ北側に住宅地が位置し、圧迫感・騒音等がより懸念されること、公園広場が東西に分断されること等課題があると認識しており、配置案については、今後再検討いたします。 また、配置案①②ともに北側に設けているオープンスペース及びメインエントランスの位置についても合わせて再検討いたします。
	平時はフレキシブルに使える。興行時は、イベントスペースとして活用と掲げているが、建物北側では、日当たりも悪く、この使用目的は不適當ではないかと思えます。	
	現在、1日中、日（太陽）が当たり、憩いの場である公園をなくし、西側いっぱいまで建物（ラウンジ）が来てしまうなんて、東側にアリーナ、昼頃まで日差しもなく、ゆとりもなくなってしまいます。	
	3500席の体育館の建設に当たり、サブ体育館を東側に建設も検討していただきたい。 原案の西側に建設の場合は、屋根を傾斜させ、日影が少ないようにしてもらいたい。 ・サブ体育館とメインアリーナを高架でつなげる。 ・エアコン等の室外機は土手側に設置 ・大型バスが駐車できるスペース ・駐車場の確保、河川敷を利用する場合は、乗降する場所が安全でスムーズに移動できる乗降口を建設 ・乗降する道は一方通行 ・例えば雨水ポンプ場から河川敷の駐車場につながる乗降できる道の建設 ・避難場所としての施設の設置 ・防災備品の収納場所の確保 ・文化センターと共用できる駐車場 ・体育館の南側の道路はなくさなくてもよいのでは。 ・さくら祭での露天商の位置確保	

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【4】 続き 配置案について	市の推す配置案１が採用される前提で申し上げます。 アリーナと北側住宅街と間にオープンスペースを設け、イベント・飲食物販・交流のためのエリアとすることに反対です。 本来建つはずのない地域に用途変更して「商業施設」を建設するうえ、住宅の目の前にわざわざイベント級の人流を作り滞留ゾーンを設けることは、隣接する住宅街に住むものとして不愉快です。メインエントランス・オープンスペースの配置変更をお願いします。 配置案の比較の中に「北側住民への配慮が必要」と書いてありますが、住民にとってどのようなデメリットが生じると考え、どんな配慮を予定しているのか教えてください。 また、コンサル・設計・施工・運営業者の選定の審査項目のひとつに、隣接住宅地への配慮を入れてください。	本計画では、熊谷駅から荒川緑地への通行機能の確保、桜木小学校への圧迫感、既存体育館の休館期間の短縮等の観点から、配置案①が望ましいと考えました。 しかしながら、市民の皆さまからご意見をいただいたとおり、メインアリーナ北側に住宅地が位置し、圧迫感・騒音等がより懸念されること、公園広場が東西に分断されること等課題があると認識しており、配置案については、今後再検討いたします。 また、配置案①②ともに北側に設けているオープンスペース及びメインエントランスの位置についても合わせて再検討いたします。
	比較検討の結果、配置案１が望ましいという結論となりましたとありますが案１ありきの比較表に思えます。より地域への影響が小さいと思われる案２の優位性をお伝えします。(結論＝決定ではないと受け止めますが、５つほどあったとタウンミーティングで話題に出た他の案は公表されないのでしょうか？)	
	配置案２に修正すべきである。 基本計画の撤回、桜木小跡地との一体開発が本来あるべき考え方(上記意見１の通り)だが、再検討する場合においても、公園・広場を分断するような考え方、すなわち配置案１は愚案である。 公園・広場は町内会で集合する場合や市民が日常憩う場合に貴重な場所となっており、3,600 平米でも不十分なほどであり、分断することは許されない。	

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【4】 続き 配置案について	体育館を建て替えるにあたり、今ある場所に建て替えるという選択肢はないのでしょうか？ 荒川公園は河原町に位置し、そのほとんどは住宅街であります。 まずは河原町の住民の方々にご納得いただくべきかと思えます。 春の桜祭り、夏の花火大会と、市民の中には荒川公園へ親しみを感じておられる方も多いと思います。駅近くで駅中の保育所でもお散歩に利用しているのではないのでしょうか？ 暑い熊谷であるからこそ駅近くの荒川公園を残していただけると嬉しいです。 新体育館建設予定地のすぐ目の前に住んでおります。 ・ 広場でフェスなどの交流イベント開催 ・ 新体育館北側をイベントスペースとする ・ アリーナ利用者の滞留スペース ・ プロスポーツの興行時はイベントスペースや仮設店舗の出店スペースとして活用 ・ 花火大会、桜まつりの利用も可能 オープンスペースでのフェスや桜まつりの開催は反対です。 イベントは土手側でやって頂きたい。	本計画では、熊谷駅から荒川緑地への通行機能の確保、桜木小学校への圧迫感、既存体育館の休館期間の短縮等の観点から、配置案①が望ましいと考えました。 しかしながら、市民の皆さまからご意見をいただいたとおり、メインアリーナ北側に住宅地が位置し、圧迫感・騒音等がより懸念されること、公園広場が東西に分断されること等課題があると認識しており、配置案については、今後再検討いたします。 また、配置案①②ともに北側に設けているオープンスペース及びメインエントランスの位置についても合わせて再検討いたします。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【5】 既存樹木の 保全、植栽 計画について	公園のけやき並木と銀杏の木の大量伐採を中止して欲しい。公園の緑と土を残す配置計画を求める。熊谷市はヒートアイランド対策宣言をしているのに木の伐採と土のコンクリート化と人工排熱を増大させる建物の建設は容認できない。	緑化への配慮は重要と考えており、埼玉県緑化計画届出制度を踏まえ、既存樹木の保全・移植および新植樹を想定しております。
	体育館移転の為、公園側にとの話があるそうですが、私は反対です。 国では、子供手当、防衛費と騒いでいる中、子供達や老人まで公園で憩い、走る。春の桜の花、秋になればイチョウの葉、四季を感じる大切な公園を大切にしてください。老若男女の楽しく過ごす場です。子供を育てる物、公園の中にたくさんあります。人口減少、昨年度の出産減少、大切な樹々を切る事等しないでください。	また、樹木その他、西側・東側の芝生広場や屋上緑化等も想定しておりますが、市民の皆さまから寄せられた意見を踏まえ、配置案の再検討と合わせて、既存樹木については、移植の可能性も含めて、可能な限り保全を行う方向で検討いたします。
	・基本計画では、緑とオープンスペースによる都市のリノベーションを推進し「温暖化対策、生物多様性の確保、防災性の向上等、緑の多面的な価値を発揮する」としています。温暖化対策、生物多様性の確保のためには緑の多い、自然環境の保全が重要です。現在の公園内の多数の木と広がりのあるオープンスペースは貴重な日陰をもたらし、人々に多目的な利用を促しています。個人的な気温観測の結果であるが、夏は熊谷駅北口側に比べて、緑の多い荒川公園は1～2℃気温が低くなっています。緑が多く、空気の滞留を防ぎ南北の風通しもいいのが現在の公園です。巨大な新体育館と木の伐採で周辺の気温を上げてしまう現在の計画は、温暖化対策に逆行する計画です。なお、公園内の常緑樹、特にけやきなどの枯葉は自治会の役員等によりきれいに片づけています。この枯葉を畑に持って行き堆肥として活用しています。自然にやさしい貴重な資源です。公園内の木は伐採するのではなく、保存を基本にした計画が必要です。 ・荒川児童館を利用している子供たちが、落ち葉を蹴散らし、サッカーやドッジボールなどで元気に遊びまわる姿を見て、自然の豊かな熊谷ならではの光景とうれしく思っています。現在の計画では児童館が無くなってしまいます。自然の中で子供たちが遊べる児童館の存続が必要です。	

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【5】 続き 既存樹木の 保全、植栽 計画について	都内在住の者です。荒川公園近くに 住む友人宅を訪れるときにはよく寄る 公園です。この度の再整備計画で、ケ ヤキ並木やイチョウの樹の20本以上 が伐採されると聞きました。この伐採 計画に反対です。 公園は人間の心と頭脳を結集して造 る、人間の憩いのための場所だと思い ます。そこに憩いの最大要素としての 樹木が植えられ、大きく育った樹木は、 公園開発に携わった人々とのコラボ作 品となります。私たちに深呼吸の機会 を与え続けてくれている大木たち、そ の機会を私たちに与えてくれた先人た ち、この両方への感謝と尊敬の気持ち を忘れてはならないと思います。 どうか今の関係者の心と頭脳を再結 集し、樹木のいのちと先人たちの遺産 を失わないで済むような再整備をお願 いいたします。	緑化への配慮は重要と考えており、埼玉県緑化計画届出制度を踏まえ、既存樹木の保全・移植および新植樹を想定しております。 また、樹木その他、西側・東側の芝生広場や屋上緑化等も想定しておりますが、市民の皆さまから寄せられた意見を踏まえ、配置案の再検討と合わせて、既存樹木については、移植の可能性も含めて、可能な限り保全を行う方向で検討いたします。
	何本切る予定か記載がないので示して欲しい	
	公園中央の木を伐採しないで、大木を生かした案で計画していただきたいです。	
	自然を減らさないでほしいです	
	木を切らないで。春になると桜並木を見に行く所がなくなる。	
	古い公園の木を切る事には反対です。	
	素晴らしい樹木を伐採しないでほしい。伐採しないプランで考えてほしいです	
	綺麗な桜並木の景観が失われてしまう。木は切ってしまうからじゃ取り戻せない。最近では子供が車を気にせず遊べる場所が少なくなっていて数少ない自然を減らさないでほしい。	

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【5】 続き 既存樹木の 保全、植栽 計画につい て	櫟並木が伐採されるのはとても残念である。 樹齢が長いと思うので残して欲しい。	緑化への配慮は重要と考えており、埼玉県緑化計画届出制度を踏まえ、既存樹の保全・移植および新植樹を想定しております。 また、樹木その他、西側・東側の芝生広場や屋上緑化等も想定しておりますが、市民の皆さまから寄せられた意見を踏まえ、配置案の再検討と合わせて、既存樹木については、移植の可能性も含めて、可能な限り保全を行う方向で検討いたします。
	樹木を伐採しないでほしい	
	アリーナ建設に伴う木々の伐採は出来る限り少なくしていただきたいと思います。	
	いちよう並木の移植について	
	公園の木を伐採する事には、賛同できません。	
	自然をなくさないでほしい	
	2月13日（月）市民体育館での説明会時にも申し上げましたが、東側に隣接する桜木小学校移転問題までこの整備計画は先送りすべきと思います。	
	子供のころから慣れ親しんだ公園の木々がなくなるのが悲しい	
	公園の木を切る事には反対です。	
	伐採することで、自然破壊にもつながります。子どもの遊び場をなくさないでください。	
	木を大切に	
	大径木の伐採が必要となる。➡大径木は出来る限り伐採をやめ、移植等により生かす	
	荒川公園は夜見通しよく、照明も明るく暑い夏の夜にウォーキングに出かけ雲梯でぶら下がったり、グラウンドでジョギングができました。休日は親子でバットを振ったり、少年数人でキャッチボールしているのを見ると、のびのびしたゆとりのある場所でいいなあと思います。今道路側の並木の枝の伐採で以前の涼しくていい日陰がなくなりました。木は、是非とも残して欲しいです。	
	なるべくそのまま残して欲しい。特にケヤキ並木は新緑・紅葉も美しく公園のシンボリック的存在と言える。	
	櫟並木が伐採されるのはとても残念である。 樹齢が長いと思うので残して欲しい。	

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【5】 続き 既存樹木の 保全、植栽 計画について	子供達の自由な遊び場が大人のための施設に変わるのは許せないです。 子供の安全などどこにもない計画です。 市の方はあそこのイチョウの木を見たことがありますか？ どこにもないほど美しい景観です！ 自然を破壊するのはやめて下さい！ 駅南口の静かな環境を奪わないで下さい！	緑化への配慮は重要と考えており、埼玉県緑化計画届出制度を踏まえ、既存樹の保全・移植および新植樹を想定しております。 また、樹木その他、西側・東側の芝生広場や屋上緑化等も想定しておりますが、市民の皆さまから寄せられた意見を踏まえ、配置案の再検討と合わせて、既存樹木については、移植の可能性も含めて、可能な限り保全を行う方向で検討いたします。
	建築敷地外の気温上昇が懸念されます。計画の段階からデータを客観的に蓄積し、影響を緩和させる配置にしてください。北側住宅地の住民は眺望の犠牲に加え、風の通り道が無くなる心配をしております。排熱も含め、狭義の意味でのヒートアイランド対策を科学的知見にもとづき実施してください。なお、本来は緑を増やして都市の暑さを逃し憩いの空間となるべき場所が公園です。ここには市役所通りからまっすぐ伸びる美しいケヤキ並木が在り、秋には市民が黄色く色づくイチョウの樹々を撮影しています。市が推す案1ではその高木を大規模に伐採しようとしており、非常に残念です。荒川公園に身を置けばお分かりになると思います。どうか未来の熊谷市民に恥じない計画をお願いします。	
	現荒川公園中央に並木状に植えられているイチョウやけやきについて、伐採せずに他の場所に植え替えていただきたい。	
	現在上がっている2案だと桜以外は全て伐採されるようですが、数本でも残して欲しい。 公園中央の南北の並木は、そのまま残してほしい。	

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【5】 続き 既存樹木の 保全、植栽 計画について	基本計画では、緑とオープンスペースによる都市のリノベーションを推進し「温暖化対策、生物多様性の確保、防災性の向上等、緑の多面的な価値を発揮する」としている。温暖化対策、生物多様性の確保のためには緑の多い、自然環境の保全が重要である。しかし、計画では多くの木が切り倒される。中には巨木と思われる木もある。巨木と広がりのある現在のオープンスペースは貴重な日陰をもたらし、人々に多目的な利用を促している。これらの木は伐採するのではなく、保存を基本にした計画が必要であるとする。 個人的な気温観測の結果であるが、夏は熊谷駅北口側に比べて、緑の多い荒川公園は1～2℃気温が低い。緑が多く、空気の滞留を防ぎ南北の風通しもいいのが現在の公園である。巨大な建造物と緑の伐採で周辺の気温を上げてしまう。日本一暑い熊谷をさらに気温を上げようとしているのか。温暖化対策どのようにとられるのか具体的内容を示していただきたい。 公園内の常緑樹、特にけやきなどの枯葉は自治会の役員等によりきれいに片づけられている。この枯葉を畑に持って行き堆肥として活用している。自然にやさしい貴重な資源である。 市役所からまっすぐ来ての公園内銀杏の木が色づく景色は東京大学本郷キャンパスのようで美しい。 この長年熊谷を彩ってきた銀杏たちを伐採してアリーナを建てるのは反対だ。 銀杏は火災にも強く防災の観点からも木は残すべきだ。 公園面積も三分の一になってしまう。 桜並木と公園は一体化している。 周辺住民への配慮が足りない。 また商業地域への変更など容認できない。 現在の自然を生かして小さい子どもから遊べる公園づくりをして欲しい。 施設を建設するに当たって現在生えている多くの木々を伐採することになり、「育み守る」と反対の事をしようとしている。	緑化への配慮は重要と考えており、埼玉県緑化計画届出制度を踏まえ、既存樹の保全・移植および新植樹を想定しております。 また、樹木その他、西側・東側の芝生広場や屋上緑化等も想定しておりますが、市民の皆さまから寄せられた意見を踏まえ、配置案の再検討と合わせて、既存樹木については、移植の可能性も含めて、可能な限り保全を行う方向で検討いたします。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【6】 環境への配慮	騒音、排ガス等、基本、車の利用による制約をしないとせっかくの住宅地が台無しになる。今までより環境悪化となる。	樹木の保全・緑化と合せて、省エネ設備等の導入や本施設に求める環境性能等の実現に向けた本施設における取組について検討いたします。
	国民（市民）のどれだけの割合の人がスポーツに関心を持っているか。思っている以上に少ないです。多くの人の関心は幸せで豊かであること。であるならば環境問題は最優先するべきでしょう。	また、駐車場設置に伴う騒音・排ガス対策についても検討いたします。
	市長さんの地球温暖化を考えるという公約は、とても素敵だなと思っていました。が、この計画は環境問題を無視しています。古くなった建物（文化センターと体育館）を合わせて、日本に唯一と言われるくらいの魅力的な複合施設を作ってください。	
【7】 現荒川公園の存続について	昔の公園を残してください	本事業では、みるスポーツの機能を強化し、賑わい創出を図るとともに、熊谷駅至近で荒川緑地等の自然環境や文化センター等の文教施設との相乗効果による魅力付けが可能であり、こうした地域資源を活用して市の発展につなげて行きたいという想いを持っております。 そのためには、新体育館の規模拡大及び既存荒川公園敷地の一部を活用した新体育館整備が必要となります。 しかしながら、芝生広場やインクルーシブ遊具の導入など、公園機能のグレードアップを図るとともに、 【4】【5】で詳述の配置案や植栽計画の見直しを行うことにより、今後も市民の方に利用してもらえる公園となるよう検討してまいります。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【7】 続き 現 荒川公園 の 存続につ いて	景観が損なわれる。現状の荒川公園を 残して欲しい。	本事業では、みるスポーツの機能を強化し、賑わい創出を図るとともに、熊谷駅至近で荒川緑地等の自然環境や文化センター等の文教施設との相乗効果による魅力付けが可能であり、こうした地域資源を活用して市の発展につなげて行きたいという想いを持っております。 そのためには、新体育館の規模拡大及び既存荒川公園敷地の一部を活用した新体育館整備が必要となります。 しかしながら、芝生広場やインクルーシブ遊具の導入など、公園機能のグレードアップを図るとともに、【4】【5】で詳述の配置案や植栽計画の見直しを行うことにより、今後も市民の方に利用してもらえる公園となるよう検討してまいります。
	公園はそのまま残してほしい。 遊具は新しいものを入れて整備して欲しい。 熊谷市の観光の二大イベントである花火大会と桜祭りで大きな役割を持っている荒川公園を今の形のままにして欲しい。 新市民体育館建設については賛成いたします 建設予定地を荒川公園に計画をすることには反対いたします	
【8】 公園の規模 について	公園を削減する事には反対です	現計画地面積に限りがある中で、最大限、オープンスペース・公園の規模を確保（現荒川公園面積 15,000㎡に対し、西側・東側公園広場及び北側オープンスペースの面積は 12,350㎡）する計画としおります。 しかしながら、ご指摘のとおり、現在の公園と比較すると公園面積が減少するため、配置案や既存樹木の保全と合せ、公園・オープンスペースの規模についても再検討します。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【9】 駐車場規模 について	全体の駐車場が少ないように思います。 また障害者用の駐車場が少なく思います。	駐車場規模について、現計画地面積に限りがある中で、オープンスペース（公園）面積を確保するという観点から、熊谷駅から徒歩５分という特性を活かし、駐車場台数は１００台程度とし、大会・興行時は関係者駐車場（選手用大型バス等）として運用することを想定しております。 このため、興行開催時は公共交通を利用いただくことを想定しております。 また、身障者駐車場について、現計画では、「埼玉県福祉のまちづくり条例」を踏まえ、身障者用３台を想定しておりますが、いただいたご意見を踏まえ、現計画地において確保可能な駐車场面積を勘案しながら再検討いたします。
	駐車場の数が少ない。 バス（大型～マイクロ）の利用が考慮されていない。	
	プロスポーツ・イベントを行う施設としては、駐車スペースが小さすぎませんか。	
	駐車場が十分確保されていないのではないのでしょうか？また、地域にはゾーン３０に設定された道路が多くあります。ここを抜け道として利用されたり、さくらまつりで以前から問題になっている駐車待ち渋滞で住民の生活に支障が出ることを防ぐべく導線を１７号国道・荒川大橋・駅南口周辺・河川敷ともに計画してください。地方都市の大規模施設に強みを持たせるとしたら、アクセスの工夫だと思います。・近隣の道路で滞ることなく、幹線道路にスムーズに流出入できる・道路設計で車両・歩行者の交わりを最低限に抑え、双方の安全を十分確保する駅からの近さより、車で利用する場合の利便性が地方の施設運営を成功させる大切な前提条件です。公園・体育館（含ジム）・ランニングステーション・場合によっては文化センターへの来場者が、利用施設の近くに車を停められてすぐ駐車場から出られる環境が確保出来ればそれは大きな強みになります。住宅地に「商業施設」を建設するのです。せめて想定できる困りごとは発生しないよう皆様お知恵を絞ってくださいますようお願い申し上げます。 駐車場のうち、身障害者スペース３台は少なすぎる。	
【10】 駐車場の仕様について	駐車台数が１０５台は少なすぎると思います。２００台以上停められるよう、立体駐車場も検討してください。 駐車場は高温化対策として芝生等の利用や、高温になりにくい材質を使用してほしい。	オープンスペース（公園）への圧迫感を低減する観点から、平面駐車場の整備を想定し検討しました。 また、駐車場の舗装について、高温になりにくい材質等の仕様について引き続き検討いたします。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【11】 導入機能について	新しい施設の設置について 1. 配置案(1)が優れると思う。 2. できればアリーナを更に可能な限り西側に寄せ、将来の桜木小学校敷の利用計画用地の拡張性を確保すべきと考えます。 3. アリーナ東側のSL設置予定位置(移設不要と考えてはいるが)周辺に3X3バスケットコートや小スケボーパークなどを設置しシティースポーツの場を作るなどしたらどうでしょう。 4. 昔は、体育館の北側にテニスコートがありました。いまでも高齢者にも愛好され、休日など不足しているテニスコートを復活させて頂きたい。	新体育館・公園への導入機能について、多様なご意見をいただきました。計画地の面積に限りがあるため、現状の導入機能との優先順位を考慮しながら検討していきます。 なお、いただいたご意見のうち、防災備蓄倉庫、駐車場、遊具(インクルーシブ遊具・複合遊具)、屋根付東屋(現計画ではコミュニティラウンジに日除けの設置を想定)、芝生広場については、現計画においても導入を想定しております。
	ドッグランを造って頂きたいと思います。	
	アリーナ機能 フットサルができる機能を付けてほしい	
	地区民が集まって活動できる建物、また、屋根付きの東屋の設置 ・魅力的な遊具、ローラー滑り台 ・ジャンピングマット ・暑いぞ熊谷にあった水遊び場 ・マレットゴルフ(グラウンドゴルフ)のコースの設置・できれば常設 ・避難場所として利用するために防災倉庫の設置 ・コンロになるベンチの設置 ・トイレ・手洗い場の設置 ・青空コンサートができるスペースの設置 ・数台の駐車場の設置 ・近く保育園の幼児が遊びにくることがあるので、幼児用の遊具や砂場の設置	
	心の癒しとなる花壇や芝生広場の設置 (公園サポーター管理)	
	まちのシンボルをつくる使い方に、屋外イベントの観賞や、星空観賞にも活用できる屋上やオープンテラスを追加して欲しい。	

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【12】 周辺道路交通への影響	現在公園東側の市民体育館前を通り右に曲がり公園南側一方通行を抜けていく車が多い。 道路を封鎖することによりその車たちは公園北側を通り左に曲がり公園西側を通り右に曲がり一方通行の道に出るものとおもわれる。 そのため住宅街への通行量が多くなり特に通勤時間は通学路と重なり危険が増大する。 調査していたようだが細かいデータが計画案に載せていないので何台の車が住宅地に入ってくるのか明確にして欲しい。	周辺道路交通への影響は、現在検証作業を実施しており、渋滞や事故等、周辺への影響が最小となるよう、道路管理者や交通管理者と協議をしながら引き続き検討していきます。
	荒川公園のみの道路拡張である為、東から西へ抜ける車の渋滞が予測されます。日常朝夕は、車の抜け道でもあり、事故の起きやすい場所	
	周辺への影響交通による影響について体育館のみならず広範囲に及ぶことを検討すべき。熊谷駅南口ロータリー荒川通り線の渋滞緩和策土手下道路の利用者数の増加への対応（河原町～広瀬間）	
	車の渋滞になりやすい所のひとつに「川にかかる橋」や「踏切」などのボトルネックがある。計画地は南も北も渋滞がおきやすい。	
	駐車場（105 台）と、入りきれない車は河川敷に駐車すると思うので、かなり交通量が増えると思われる。歩行者の安全性、渋滞の起こりにくい道路整備をお願いしたい。	

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【13】 周辺道路について	敷地の周りの道路について、対面通行が出来ないようにしないと周辺の道路がとても混雑してしまう。	現計画では、公園北側の道路は対面通行、公園東側の新設道路に関しては一方通行を想定しております。 周辺道路交通への影響は、現在検証作業を実施していますが、渋滞や事故等、周辺への影響が最小となるように、道路管理者や交通管理者に確認しながら引き続き検討していきます。
【14】 東側道路廃道について	駅からまっすぐ桜並木が見える素晴らしい景観を損なってしまう。 桜の頃や花火大会の時、駅から来た人たちがワクワクする道だと思う。 広い道路のおかげで人の流れもスムーズになっている。 行き止まりだったり公園内通路で狭くなったりするのは危険でもある。 南口の財産である桜と花火をもっと大切にしてほしい。	廃道する東側道路は、敷地内通路とすることで、駅から桜並木へのアクセス及び景観を維持することを検討しておりましたが、配置案を含め改めて検討していきます。
【15】 北側住宅地への配慮、イベント時の周辺道路の渋滞対策	・駐車場北側住宅街への配慮は記載されていますが、新体育館北側住宅街へも最大限配慮して頂きたい。 ・イベント時の周辺道路の渋滞対策についても課題として扱って頂きたい。	新体育館北側住宅地への配慮については、【2】に記載のとおり、配置案の見直しも含めて再検討いたします。 興行開催時は公共交通を利用いただくことを想定しております。 イベント時の周辺道路の渋滞対策については、交通量への影響について交通量調査等を実施していますので、その結果も踏まえながら、対応策について検討いたします。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【16】 北側道路拡幅について	8 メートル道路にするというが、公園側を削って道幅を広くした場合、公園西側道路との交差点に家がある。その家に向かって車が直進してくる危険性について説明してほしい。その交差点先は住宅街になっており道幅は広げられない。公園の周りの道のことだけ考えている計画には危険がたくさんあると思う。	拡幅後の北側道路の車線・歩道配分及び、西側交差点との接続時の安全性確保方策について、車道や歩道の確保等を含め引き続き検討いたします。
【17】 南側道路の廃道について	南側土手下の道路を廃止するのは大反対です。 北側のオープンスペースも反対です。	荒川南側土手下の道路は、公園の管理用道路とする予定です。 北側のオープンスペースについては、体育館に訪れた方の滞留場所等の利用を想定しておりますが、配置計画の見直しに伴い、位置について再検討いたします。
【18】 熊谷駅から新体育館への動線について	熊谷駅から新体育館への動線が今のままでは大変心配です。どのように考えているか。	大規模な大会時には、公共交通機関を案内するなどの対策をとり、動線についても今後検討してまいります。
【19】 駐輪場について	一般駐車場だけでなく十分な規模かつさまざまな車種に対応した自転車駐輪場を整備してほしい。 また、利用される自転車は子供向けのものから一般の自転車、スタンドを備えないスポーツ向け自転車まで想定されるため、それらが快適かつセキュリティ面も安心して駐輪できる設備が必要だと思う。 さらに、荒川堤防からサイクリングの終点として熊谷への観光を検討してもらえるよう、一部のスペースについては熊谷の周辺施設へ公園内に駐輪したまま移動を許可・可能とするとなお良いと思う。	p30「概略モデルプラン」については、駐車場のみ図示しておりますが、本事業実施時には駐輪場の整備も想定しております。 駐輪場の仕様・運用策について、今後も検討いたします。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【20】 災害対策について	災害リスクの高まりが年々強くなると予想される。 災害時の拠点としての機能も整備必要	基本計画素案 p59「課題等の整理」に記載のとおり、防災機能については、本施設の防災上の位置づけを踏まえ、今後検討いたします。
【21】 施設規模、防災について	日本一暑い熊谷の市立体育館なのに冷暖房施設の無い、老朽化している市立体育館の建替えは必要ですが、新体育館はコンパクトな大きさと、緊急時は避難等住民の命とくらしが守れる体育館にしていきたい。	本事業では、みるスポーツの機能を強化し、賑わい創出を図るとともに、熊谷駅至近で荒川緑地等の自然環境や文化センター等の文教施設との相乗効果による魅力付けが可能であり、こうした地域資源を活用して市の発展につなげて行きたいと考えています。 このため、新体育館では、するスポーツだけでなく、みるスポーツへの対応可能な規模について、検討を進め、県北最大規模となる 3,500 人という規模を設定しました。 本施設の防災上の位置づけを踏まえ、防災上必要な設備等について検討いたします。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【22】 施設規模、駐車場、周辺交通への懸念、防災対策について	計画では「みるスポーツ」が強調されている。このために観客数が 3500 人以上の規模となっている。この 3500 人はどのような根拠から計算されたのか。例えば 2000 人規模では何が不都合なのか。箱は大きいばかりがいいのではない。計画では駐車スペースが、普通車 105 台、身障者用 3 台となっている。3500 人規模のイベントに対しては、あまりにも狭いスペースである。駅に近いと言っても車社会である。駐車できない車はどこに駐車させようとしているのか。桜祭りの時の公園周辺道路の渋滞は、現在でも大変な状態である。3500 人規模のイベントでは短い時間に車が集中する。計画の道路では渋滞緩和になっていないのではないのか。場所は違うが、さくらめいとでのイベント時は駐車するために周辺道路の渋滞が、現在でも大変な状態である。花火大会、桜祭り開催時の荒川土手への南北の人流は、熊谷駅からと市役所からの直線幹線道路が担っている。計画ではこれら 2 本とも新体育館が遮断している。土手に上がるため等、大混雑に対する対策がとれていないのではないのか。防災性の向上について、気候変動の影響で大きな自然災害が毎年のように襲ってくる。熊谷でも 2019 年台風第 19 号の時のような荒川大出水は今後も考えられる。北西縁断層帯の地震、首都直下地震も心配である。今回の計画では防災性の向上についての具体的な記述が見えない。どのような向上を考えているのか伺いたい。	体育館の規模については、見るスポーツ及びするスポーツの対応可能な規模について、検討を進め、V1 リーグのホームアリーナ基準を満たし、また、県北最大規模となる 3,500 人規模とし設定しました。 駐車場につきましては、100 台程度を想定しておりますが、大規模な大会の際には、駅から近い立地を生かし、公共交通機関の利用を案内することを考えています。 さくら祭や花火大会時の人の流れは、非常に多いことを認識しており、歩行者の動線について検討していきます。 市役所からの幹線道路についても、公園内を通過して通行が可能となるよう検討しております。防災性の向上については、今後設計等を進めていくに当たり、構造、設備、物資等について検討を進めていきます。 また、新市民体育館も第 2 避難所になることが想定されますので、近隣住民の方が避難された場合に利用可能な設備等を検討したいと考えております。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【23】 施設規模について	大きな施設を1箇所でなく、もっと小さい施設を何か所か整備した方が、市民が使えるのではないかと考えます。	市民大会の実施など多くの方が集まる大会を実施するための施設は必要であること、市民体育館の老朽化に伴う建替えから、市を代表する体育館として整備を検討していきます。
【24】 事業費について	施設整備費が膨大であると感じた。	本事業では、みるスポーツの機能を強化し、賑わい創出を図るとともに、熊谷駅至近で荒川緑地等の自然環境や文化センター等の文教施設との相乗効果による魅力付けが可能であり、こうした地域資源を活用して市の発展につなげて行きたいと考えています。 施設整備費や維持管理・運営費については、調査データや類似事例を基に設定した金額です。 PFI手法を採用し、民間の創意工夫により費用の削減も見込めますが、p41に記載のとおり、PFI手法採用による市の財政負担の縮減率は5.5%程度と想定しております。 また、ご意見いただいたとおり、使用料収入を増やせば維持管理・運営段階の収支は改善しますが、引き続き「する」スポーツの場として利用いただくという公共体育館としての役割を踏まえると、利用料金的大幅な値上げは難しいと考えております。
	使用料収入が少ない	
	100億円以上の予算で維持費も1億円以上。 収益が3千万円程の見込み。どのように運営していくのか不安しかない。	
	費用とともにかかる割にはその分収入が少ないので、維持管理費なども年間で1.6億円もかかるのでは作るだけ無駄ではないでしょうか。(旧体育館も赤字のようですので、また建てる意味があるのでしょうか。)	
	今の収支で管理維持費で相当な赤字を出しているのかかわらず、施設を新しくして、市民の負担は増えないのか？その根拠は？	
	使用料収入に対して施設整備費、維持管理費があきらかに多すぎると感じます。	

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【25】 市の財政負担額について	体育館建て替え自体は賛成ですが、その規模が、問題だと思う。楽観的過ぎませんか？税金だけで賄うわけでは無いと理解しますが、結局どのくらい税金が投入されるかも正しく説明されず、想像ですが、投資利益率の観点からペイ出来ると思えません。説明を求めます。近隣住民への理解を取り付けるアクションも後手と言わざるを得ず、桜木小学校敷地利用も明確にされず、到底納得出来ません。このまま進めるなら、怒りをおぼえますよ。覚悟してください。	従来方式における市の財政負担額について、施設整備費と維持管理費を含む支出額は、年度により異なりますが、1億6千万円から4億1千万円程度を想定しています。住民の皆さまへの周知・意見聴取方法については【31】を、桜木小学校敷地利用については【1】を参照ください。
【26】 公園の事業費について	建物（箱物）にお金をかけあまりにも予算のかけ方が公園の方に少ない。移植費用等もっと必要なのではないか。 あまりにも差がある。公園に赴きをおいてない。	体育館・公園ともに、調査データや類似事例等の根拠を基に設定したのですが、ご指摘の既存樹木の移植費用や、配置案再検討に伴う公園面積の変更可能性等を踏まえ、概算事業費については引き続き精査いたします。
【27】 施設使用料収入について	使用料収入の見込みが思いのほか少ない	プロスポーツ・イベント等の開催を年間 7～8 日と想定していることから、収入の大部分は、アリーナ・トレーニングルーム・柔剣道場における、一般利用者・団体からの利用料金となります。 「公共体育館」として、市民の皆さまが気軽に利用できる料金設定とすべきという考えから、使用料収入の大幅増は難しいと考えております。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【28】 興行内容等について	1 桜木小の統廃合について何も決ま っていない段階で周辺の再整備をきめ るのは時期尚早だと思う。 2 開発は桜木小の敷地も含めて一体 化するべきだ。 3 またアリーナとしてどのようなイ ベントを誘致しようとしているのか明 確にしてほしい。 4 建物だけ作って維持費ペイできな いような自治体も多い。 5 大きい建物作ればそれだけ維持費 もかかる。 6 首都圏に近いのでイベントは都内 に出かける人も多い。 7 3500 人という中途半端な収容人 数で何で人を集められるのかイメージ できない。	隣接施設との一体的な再整備につ いては【1】を参照ください。 誘致する興行の内容について、本 計画では、プロバスケットボールや プロバレーボール等のプロスポーツ (特に埼玉県内を本拠地するチーム のホームゲーム)、e スポーツ、その 他音楽イベント等を想定しておりま すが、住宅地に近接していることを 踏まえ、騒音・振動対策や開催可能 な興行の内容について今後検討いた します。
【29】 興行日数に ついて	こんなに大きな施設を整備するのであ れば、大きなイベントの年間利用日数 が少ないのではないかと思います。	計画上はプロスポーツ・イベント 等を年間 7～8 日と想定しておりま すが、この他に、アマチュアスポー ツの大会等の利用も想定しておりま す。 また、民間事業者の創意工夫によ る、プロスポーツ・イベント等の開 催日数の増加も可能と考えます。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【30】 現計画に対する反対のご意見について	開発に反対です	市民体育館の老朽化に伴う、建替えに当たり、みるスポーツの機能を拡充し、にぎわい創出を図ることとし、検討しております。体育館の規模については、見るスポーツ及びするスポーツの対応可能な規模について、検討を進め、V1 リーグのホームアリーナ基準を満たし、また、県北最大規模となる 3,500 人規模とし設定しました。みるスポーツの機能を強化し、賑わい創出を図るとともに、熊谷駅至近で荒川緑地等の自然環境や文化センター等の文教施設との相乗効果による魅力付けが可能であり、こうした地域資源を活用して市の発展につなげて行きたいと考えています。 市民の皆さまが「気軽にスポーツを観る・楽しむ」拠点として、新体育館の運営には市の財政支出が必要と考えておりますが、経費を削減できるよう検討していきます。
	税金を使う場所が違う	
	市のお金を 100 億円も使って、毎年大赤字になる予定の施設は、市の財政の大きな負担になり、将来の継続的な負担は子供達に背負わせることになる。	
	この計画を始めて知りました。市報にも掲載されていたかもしれないのですがどれだけの市民が周知しているのかも疑問です。市民の知らない間に多額の税金を投入しどれだけの市民が利用するのか？ 熊谷市はその前に市民の為にやる課題があるのではないのでしょうか？ラグビータウンを掲げていますが小中高各校にほぼ部活が存在していません。そのような状況の中の案は信じ難いものがあります。	
	100 億といわれている建設費は少子化対策、福祉、道路(歩道)整備、老朽化の施設等に使うべきではないのでしょうか？熊谷に必ず必要な施設なのかを再検討して頂きたいです。	
	このような施設を作るとは、税金の無駄遣いだと感じます。	
	建設費・維持費が莫大な箱物を作るよりも、子どもの未来のためになるお金の使い方をして欲しい。	
	子どもたちの心の体が成長するために必要な栄養の取れる給食内容にすることなどに税金を使ってもらえる方が、熊谷市の未来のためになると思います。	
	施設建設は、絶対反対です。	
	施設建設には、絶対反対です。	
	説明会に伺えませんでしたでしたが、荒川公園を潰し周辺にアリーナを作る話だと聞きました。収容人数に対して駐車場も少なく、路上駐車が増えて近隣住民に迷惑が掛かることが目に見えています。	
	常に稼働し採算が取れるなら建設する価値もあると思いますが、維持費だけが掛かり財政を圧迫するような箱物を新たに作るのは辞めていただきたい。今ある物を有効活用する方法をもっと考えて下さい。	
	スポーツの振興も大切な事であると思うが、すでにラグビーワールドカップ関連で膨大な税金が使われている。スポーツ以外にも優先的に税金の使途があるのではないか。物価上昇で生活が困しい家庭の事を熊谷市は考えていますか。	

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【31】 市民の皆様への周知・意見聴取方法について	荒川公園周辺は、多くの熊谷市民にとって「桜の花見」や「さくらマラソン」「花火大会」などや日常的にも散策や犬の散歩、子供の遊び場など大勢の市民が関係者なのに知らないし意見も言えない。	パブリックコメントの実施について、ホームページを活用し、また、メルくまでの配信を行ったところでは、加えて、近隣住民の方や施設利用者の方を対象とした説明会を開催しましたが、今後も引き続き、情報発信等に努めてまいります。
	2月21日に知人よりパブリックコメントのこの意見提出用紙について知らされました。ホームページより基本計画（案）を出しましたが、何か意見と言われてすぐに出せません。もっと広く周知していただけることを望みます。	
	この計画は市報やお知らせ等でもっと、広く市民に伝える必要があると思う。	
	市民に対する計画の周知が足りない。意見募集期間も非常に短いので延長してください。	
	近隣住民への配慮や周知不足	
	熊谷市意見公募手続きに関する要綱の解説によると案の公表は決定する前の適切な時期にその他実施機関が定める方法、市報くまがやへの掲載等で行うものとする書かれています。 今回法規制の整理に時間がかかったとの理由で公表を次年度予算を審議する議会の2ヶ月前に突然発表し、それも年配の方が見られないホームページと出かけて行かないと見られない閲覧のみであったのは許されません。 今回の意見公募だけで決定することは許されません。 3月か4月の市報に載せて再度意見を求めるのが開かれた市政だと思います。	
	老朽化が理由とありますが、なぜもっと大きく取り上げて市民の声を聞こうとしないのか？ もっと長いスパンをかけて取り組むべき！	

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【32】 慰霊塔、SL について	○古い施設の取り扱い 1. 慰霊塔はアリーナの一部に慰霊趣 旨を刻むことでその設置意義を残す 等、場所を取らない方法にすべき。 2. SL をわざわざ移設して保存する必 要があるのか再検討すべき。秩父鉄道 が SL 列車を運行して SL の価値をア ピールしている現状があり、ここの SL を残す意義はないと思う。	慰霊塔については、関係団体の方 と移転等を含め、あり方について調 整を行っております。 SL については、寄附を受け、荒川 公園のシンボルとなっていると思っ ております。運行している SL を身 近に見ることができること、イベン ト等で子供たちが身近に触れる良い 機会にもなるため、公園内に残すこ ととしております。
【33】 SL につい て	公園機能 SL の移設は荒川公園と一体となった 活用をすべき	SL の配置については、配置計画の 見直しと合せ再検討いたします。 運行している SL を身近に見ること ができること、イベント等で子供 たちが触れることができるよう公園 内に残し、今後も利用について検討 していきます。
	SL は子供たちと触れ合える場所とし て、西側荒川公園内に設置 SL を展示だけではなく金網で囲うの ではなく、子供達が触れられる施設に、 腐食を防ぐために屋根は設置 ※地区民が公園管理ができる体制	
【34】 子どもの遊 び場につい て	子供たちの遊び場をなくさないでほし い	基本計画素案 p30 のとおり、西側 公園に芝生広場と、インクルーシブ 遊具（身体に障がいのある子も、な い子も一緒に遊ぶことができる遊 具）、複合遊具を設け、現荒川公園に おける遊び場の機能を充実できるよ う考えております。
【35】 桜木小学校 への影響に ついて	個人的に公園の並木が無くなるのは残 念ですが(癒しでした)熊谷がより賑わ うようになるのはよろしいかと思いま す。くれぐれも、工事や交通が桜木小 の子供達の妨げにならないように願 いします。	熊谷がにぎわうよう、また、交通 対策等について検討を進めたいと考 えています。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【36】 新体育館の高さ想定について	図面には表示ないので縦横の長さとお高さを教えてほしい。 公園は幅が狭いので細長いアリーナを作ろうとしているが使いにくいと思う。 老朽化して雨漏りもしている文化センターと一体化して計画する方がいいものができると思う。 これから 16 年間何度も補修するよりトータル的にお金かからないスポーツだけに特化した建物より文化的でもあり複合的でもある新しいタイプのアリーナを縦幅も横幅も広い敷地に、住民への圧迫感も少なく建てることできると思う。 今の技術があればスポーツしに来た人が帰りに本を借りていくとか演劇見に来た人が帰りに体を動かして行くという施設が作れると思う。	現計画上の新体育館の建築面積は 7,100 m² (約 130m×約 57m) を想定しています。 また、高さについては、メインアリーナのある新体育館東側は最高高さ 19m 程度 (アーチ状の屋根を想定)、サブアリーナ・柔剣道場のある新体育館西側は最高高さ 16m 程度を想定しています。 なお、文化センターとの一体化については【1】を、計画地について【2】を参照ください。
【37】 新体育館のデザイン性について	荒川公園に建設予定の市民体育館は、荒川大橋からよく見え、また熊谷駅南口からは、正面に位置する熊谷市としてシンボリックな施設となります。 将来の熊谷を担う世代が、自慢できるような、一度見た人が行ってみたいくなるような、すばらしい施設となるようデザイン性に力をいれた魅力的な施設にしていきたい。 また、南側の荒川に面する部分にもオープンスペース的な部分を設け景色をながめながらコーヒーを楽しめるような空間も検討していただきたい。	近隣住民の方へ日影や音漏れ等の影響がないよう検討し、そういった中で可能な限りデザイン性を取り入れた魅力的な施設となるよう検討いたします。
【38】 新体育館を含むまちづくりについて	アリーナまでの道は、人の流れができる重要な通りとなります。 駐車場ばかりではなく民間が、資金を投下したくなるような仕組みをもたせた、まちづくりを進めていただきたい。	新市民体育館がシンボルとなり、にぎわい創出ができるよう検討してまいります。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【39】 計画全体に 対するご意 見について	スポーツを軸とした人々の健康や交流、そして荒川の桜堤を一体とした計画は、熊谷の新たなシンボルに相応しい計画だと思いました。	スポーツを軸とした人々の健康や交流、そして荒川の桜堤を一体とした事業となるよう努めてまいります。
【40】 文化面への 注力につい て	「スポーツを観る・楽しむ」を別にして言わず、「暮らしの質を高める」の中に入れる スポーツに限らず「文化的な興行」も出来るようにする。 駅から近い1等地なのでスポーツ大会招致のみではもったいない。それなら県のスポーツ文化公園でも充分である。 スポーツ・文化で人を➡スポーツと文化を 同じに扱う。プロスポーツ興行が年間どれくらいあるか。 文化的な面が現在では貧弱なので例えば、美術展の開催なども開催しやすい施設にしたい。	体育館・公園の再整備事業であることから、コンセプト上は、スポーツや健康づくり、憩い等に焦点を当てたものとしていますが、本施設と隣接する文化センターとの連携により、文化面にも力を入れていきたいと考えています。
【41】 地元企業・ 団体の活用 について	シルバー人材などを生かして、管理費の削減など、市内の管理会社に委託、海外の管理会社は使わない、地産地消の精神で！	地元企業・団体の活用は市としても重要と考えております。本事業の発注に向け、地元企業・団体の活用条件や、地元企業・団体の活用を引き出す公募条件について検討します。
【42】 騒音対策	もし音楽興行を許可するのであれば、まず開発計画に明示してください。コンサートに耐えられる防音・防振設計をたててください。定期観測を行い、その設計値が出ない場合は速やかに設備の見直しを行い大きな音の出るイベント利用をいったん停止することを約束してください。マーチングドリルについては、周辺への騒音・振動の大きな影響が予想され競技名指しでの使用禁止を求めます。	防音・防振に関する施設計画上の要求水準について検討するとともに、コンサート等の音楽イベント、マーチングバンドによる演奏、プロスポーツ時の演出・応援等、近隣への騒音懸念のあるイベントの対応策について検討いたします。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【43】 公園利用者の新体育館の利用、新体育館の利用料金について	都市公園法に即した公園として再整備を行うのであれば、公共オープンスペースとしての性質を保持した再整備案であるべきと考える。具体的には、(少なくとも近隣地域住民は) 建物に気兼ねなく入れるようになっており、無料でトレーニング施設や体育館利用をすることができるようになっていべきである。	再整備に伴い、新体育館は公園施設となることから、例えばトイレは公園広場に面した位置とする、新体育館内のキッズスペース・授乳室等は公園広場のみの利用者にも利用していただけるようにするなど、利用しやすい施設となるよう検討していきます。 また、新体育館諸室の利用料金については、県内・市内の都市公園における体育施設同様、有料とすることを想定しておりますが、気軽に利用できる料金設定に留意いたします。
【44】 興行収入の増加方策について	興行による収入予想を大幅に増加させる施策をもう少し考えるべきではないでしょうか？ そして興行による収入で近隣地域住民の利用料無償化およびに莫大な施工費の早期回収を試みるのはいかがでしょうか？	本計画では、類似事例及びプロスポーツチームへのヒアリングをもとに、プロスポーツ・イベント等の開催日数は年間 7～8 試合程度と設定しております。 本事業では、民間事業者の創意工夫余地の大きい発注方式 (PFI 方式) の採用を想定しており、市民の方の利用と民間事業者による興行利用とのバランスが重要であると考えており、本事業の公募条件について今後も検討いたします。 なお、新体育館の方向性については、【3】を参照ください。
【45】 荒川緑地の活用について	土手から芝生へおりの斜面に車椅子やベビーカー、自転車が下りられるスロープを数か所設けて頂きたいと思えます。芝生や桜並木の下にベンチを設置して頂きたいと思えます。	荒川緑地との連携を図ることも検討しており、その中で、新たな動線等の検討を進めていきます。なお、公園内へのベンチの設置については、本計画において想定しております。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【46】 荒川緑地の 舗装について	河原をコンクリートにしてしまうというのですが、温度が上がってしまい近隣の方の生活に支障があると思うので反対です。	荒川緑地におけるコンクリート舗装は現時点では想定しておりませんが、舗装を行う際は、仕様等について検討したいと思います。
【47】 事業方式について	PFI 方式を採用するべきではない 1)PFI 方式は、形の上では熊谷市が行う事業ではなく民間による事業となるため、市議会のチェックが働かず、住民の意見を反映した事業にならない可能性がある。今回、計画を住民に説明してから決定までの期間が非常に短時間で、それでもこの規模で計画を進めることに多数の住民が反対していることが明らかとなってきたが、住民の意見を圧殺して計画を進めるために、市議会のチェックを回避するために、PFI 方式を採用しているのではないかと勘繰られても仕方ない進め方である。 2)競争原理が有効に働く場合は PFI 方式にメリットがあると考えられるが、熊谷市ほどの規模の都市では、参加する民間事業者の数が限定され、競争原理が有効に働かず、割高になる可能性が高い。	1) について、PFI 方式でも、債務負担行為設定（本事業の発注に向けた予算確保）時、事業契約締結時には市議会の議決が必要となり、議会のチェック機能は働きます。 PFI 方式の導入目的は民間ノウハウの発揮によるサービス水準の向上・市の財政負担縮減にあります。 2) について、PFI 事業では、全国に基盤を有する全国企業と地域に精通した地元企業がコンソーシアムを組成して参加することで、地方都市であっても複数の民間事業者の参画は可能と考えます。ご指摘のとおり、PFI 事業において競争性の確保は重要な論点ですので、競争性確保に向けた事業条件について、今後検討いたします。
【48】 荒川児童館について	荒川児童館を利用している子供たちが、落ち葉を蹴散らし、サッカーやドッチボールなどで元気に遊びまわる姿を見て、自然の豊かな熊谷ならではの光景とうれしく思っている。今後の移設について計画が示されていないが、どのように計画されているのか。	荒川児童館は老朽化が進んでいることから、本事業に合わせ、施設の移転等を含めて検討しているところです。
【49】 歩道整備について	駅から徒歩で行くことができる立地だが、歩きやすいように歩道の整備が必要だと思う。	熊谷駅から新市民体育館の動線につきまして、今後も検討していきます。

該当箇所	意見の内容	市の考え方
【50】 バスの運行、駅南口ロータリーの拡張・整備について	「JR 熊谷駅から徒歩 5 分の立地を生かし、基本的には公共交通機関の活用を想定」とあるが、例えば駅からアリーナまでのシャトルバスのようなものを検討しているということか。或いは、路線バスの停留所の一つとして検討しているということか。 いずれにしても、駅南口ロータリーの拡張・整備をアリーナ建設とセットで進めていくべきと考える。	新市民体育館の場所については、市民体育館の建替えであること、また、新幹線の停車駅でもある熊谷駅から徒歩 5 分という立地の良さから検討しており、熊谷駅から体育館までのシャトルバスの運行は想定しておりません。
【51】 子育て政策について	スポーツを市で押していらっしゃいますが、今後子どもが増えなければ、スポーツ事業は継続できず、税収も下がるばかりです。	みるスポーツの機能を強化し、賑わい創出を図るとともに、熊谷駅至近で荒川緑地等の自然環境や文化センター等の文教施設との相乗効果による魅力付けが可能であり、こうした地域資源を活用して市の発展につなげて行きたいと考えています。
【52】 学校給食について	例えば、学校給食を「自校式」にして「有機野菜」にしたらどうだろう。今全国アチコチで始まっているが話題性抜群で子育て世代の大きな支援になりウケも良い。「小回りのきかないセンター式」では無理だが、地元の新鮮な野菜が使える。熊谷の小麦を使ったパンも魅力がある。	御意見として承ります。